

「情報公開文書」

研究課題名：

当施設における膵がんリスク検査（CA19-9＋APOA2）の導入初年度の実態

研究責任者：

公益財団法人 宮城県対がん協会 検査課 内海 萌

1. 研究の対象

2025 年 4 月～2026 年 3 月に膵がんリスク検診を受診した方

2. 研究目的・方法

膵がんは予後不良ながんの一つであり、早期発見のためのスクリーニング手法の確立が求められています。従来、血液腫瘍マーカーである CA19-9 が臨床的に広く用いられていますが、早期膵がんに対する感度には限界があることが知られています。

近年、アポリポプロテイン A2 のアイソフォーム変化を指標とする APOA2i index が、膵疾患に伴うプロテアーゼ活性の変化を反映する新たなバイオマーカーとして注目されており、早期膵がんのリスク評価への応用が期待されています。

当施設では、膵がんの早期発見を目的として、2025 年 4 月より CA19-9 と APOA2i index を組み合わせた血液検査による膵がんリスク検診として導入しました。今回、その導入初年度における受診状況および陽性出現状況、また、精密検査結果を調査し今後の有効性について考えます。

研究期間は倫理審査承認後～2027 年 3 月 31 日までとなります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

膵がんリスク検診結果と紹介先病院での精密検査結果、採血データ等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて受診者さまもしくは受診者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも受診者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人 宮城県対がん協会 検査課 022-263-1525(内線 590) 内海 萌